# 令和２年度第１回清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体　事前アンケートの結果　集約表

改訂版

| No | 区分 | 氏名 | （１）影響有無 | （２）影響のあった取り組み内容 | （３）被った損失（得られたであろう成果） | （４）新たに取り組んでいること |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 清瀬市地域包括ケア推進課 | 伊藤委員<br>森田委員 | あった | 一般介護予防事業：脳トレ元気塾、能力アップ塾、お気楽貯筋クラブ、ふまねっとは公共施設が貸出中止の際には活動ができず。再開後も、人数制限を行い、内容を一部変更し、対応している。フレイル、オーラル・フレイル予防事業は、講演会中止。今年度は事業が中止となる見込み。これらに伴い、フレイル予防マスターポイント事業も中止になった。<br>認知症事業、ゆりの会（認知症家族会）は一時期中止したが、再開。フェイスシールド着用で、予約制としたところ、それならば参加しないといった人もいた。認知症サポーター養成講座は小・中学校への実施は今年度予定なし。フォローアップ講座は魚森さんを探せを実施していたが、形を変えての実施を検討している。<br>シニアしっとく講座は、今年度中止の予定。<br>きよせメディケアネットはアンケートのみの開催を予定。<br>地域ケア会議は緊急事態宣言中は書面での開催、その後三密を避けて実施。<br>ケアマネットは中止していたが、人数を制限しての開催となった。 | 参加する予定だった方の全身機能の低下（筋力、脳、心身状態等）。介護者が気持ちを吐露できずに行き詰まり、介護疲れ。認知症やフレイル等に関しての市民への周知、予防、教育。それに伴う認知症の人の暮らしやすさ。密を避けることにより、コミュニケーションやつながり、地域づくりが困難。等に影響が出ていると感じる。 | 総合事業の通所B。→ゆうゆう元気茶屋の終了に伴い、新規に対応をメインとした短時間の通所、はつらつ貯筋クラブを開始した。４月からの新規事業であったが、開始は７月からとなり、人数も少なくし、フェイスシールドを着用しての開催となっている。当初は３０名の定員を考えていたが、現在は１３名。新規はお断りしている状況。 |
| 2 | 清瀬市民生・児童委員協議会 | 鈴木委員 | あった | 啓発活動の中止（チラシ配布、市民まつりでの啓発等）<br>定例委員会の縮小<br>高齢者宅訪問の中止 | コロナ禍の中、独居の高齢者宅を訪問することが出来ず、又、猛暑で脱水症予防の注意の為の訪問が出来ず、フラストレーションを感じた。ストレスも有り。<br>担当地域を歩いて廻ることで少しは解消したかと思う。 | １１月以降になるが、８０才以上宅のチラシのポスティングを行う予定。 |
| 3 | 清瀬市シニアクラブ連合会 | 田中委員 | あった | シニア連合、各クラブの活動停止。 | 自粛による身体機能低下。下肢筋力の低下がおきてきています。（いたしかたのない事と思います） | 三密を護り、シニアクラブの活動が始動しはじめました。 |
| 4 | 清瀬商工会 | 芦澤委員 | あった | 各種イベントの中止・延期<br>会議などの書面開催 | | |
| 5 | 公益社団法人清瀬市シルバー人材センター | 福嶋委員 | あった | シルバー人材センターフェアの中止<br>市内社会奉仕活動の自粛 | シルバー人材センター事業のPR | 令和３年２月１６日に「これからのシルバー応援FESTA」をアミューホールにて開催予定。 |

| No | 区分 | 氏名 | （1）影響有無 | （2）影響のあった取り組み内容 | （3）被った損失（得られたであろう成果） | （4）新たに取り組んでいること |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 6 | お茶の間サロン | 杉田委員 | あった | ・サロン活動の中止…３月から８月までの６か月間…会場貸し出し中止のため<br>・主催イベントの中止…４月　会場貸し出し中止のため<br>・イベント出展の中止…ふれあいまつり　開催中止のため | ・サロン活動が６か月間　６回、開催中止になったため、参加者のみなさんとのふれあいの機会が失われました。<br>・９月からサロン活動を再開しましたが、定員をコロナ前の半分にするという条件があるため、コロナ前と同じように開催することが難しい状況です。 | ９月からサロン活動を再開しました。<br>会場がコロナ対策を行う条件付きで貸出可能になったため、飲食提供なし、参加費無料で、集いの場として開催しました。 |
| 7 | 緑蔭交流サロン | 小川委員 | あった | 毎月一回、主に竹丘・梅園地域の高齢者が集まってお茶とお菓子を頂きながらおしゃべりをするサロンを開いています。午前中は歌やマジックなどのイベントを、午後は初心者中心の囲碁会を行っております。 | ３月から９月まで、会場を提供くださっていた清瀬療護園に外部の人が入館できなくなり、サロンも休まざるを得なくなっています。元来、サロンは人が集い、話をするのが眼目ですからコロナ禍の中では通常の開催は困難と考えます。損失としては、人のつながりが希薄になり、サロンに参加するため体を動かし、サロンのおしゃべりで発散できていたストレスが解消しにくくなっているのではと危惧しています。 | ９月末にスタッフが集まって今後の活動について話し合いの場を持ちました。その際、一か所に集まるのは難しいが、サロンに参加くださっていた方々のお宅に伺って玄関先で１０～２０分立ち話をする、いわば「出前サロン」のような活動の提案があり、スタッフがペアになって比較的高齢の方の自宅訪問を始めています。訪問の口実として社協さんからコロナ対策のリーフレットとボランティアマスクの提供をいただいております。 |
| 8 | チーム竹丘 | 長谷川委員 | | チーム竹丘（竹丘自治会連合ー中央自治会外８自治会及び地域の有志で構成）は地域の活性化を目的として平成２３年１２月に発足しました。<br>例年６月には地域住民及びボランティアとの交流を図るため「音楽フェスティバル」を開催、１１月には住民の防災意識の向上を図るため「防災交流会」を開催していましたが今年は密を避けるため等の理由により中止となりました。 | 地域住民の高齢化が進み孤独死などが問題視されるなか地域の交流の場がなくなり住民の身体、心の健康の不安が課題となった。 | まだコロナの先行きの見通しがはっきりしませんが、住民の皆さん交流を図り明るさを取りもどすため「防災拠点をめぐるスタンプラリー」の開催を検討しています。 |
| 9 | 清瀬市健康づくり推進員 | 金井委員 | あった | イキイキハイキングの中止をせざるをえなかった。<br>一人でも多くの人を外につれ出すという目的だったため、又高齢者の参加により健康を維持してほしいという目的だが集団での活動では中止となった。 | 高齢者の健康維持 | 一時、ハイキング部の会議を中止していたが９月より開催、コロナ対策をしながら開催する方向を捜している。又高齢者が高齢化している為、ハイキングの内容等も皆で話し合っている。 |
| 10 | 清瀬市社会福祉協議会 | 星野委員 | あった | 市民向けの催し、講座はほぼ中止・延期などの措置をとった。<br>ボランティアコーディネート（活動希望の相談、ボランティアを頼みたいとの相談、ボランティアの募集・紹介等）はほぼストップした。 | 活動意欲をもった人への掘り起こしや働きかけが十分にできなかった。<br>活動自粛を余儀なくされている方達の中には元気を失っている人も見受けられる。 | オンライン会議（ZOOM）お試し相談会<br>非接触型ボランティアのコーディネート<br>活動再開の目途が立たないグループへの交流の場づくり<br>フードバンクボランティアのグループ化 |